

### 3. 4 青少年の意識等について

青少年の意識、「自己肯定感」、「自立的行動習慣」、「道徳観・正義感」について、「平成 24 年の実態」、「学年間の比較」、「これまでの調査結果を踏まえた経年比較」の 3 つの観点から分析を行った。「得意な教科」については、今回初めて調査を実施したため、「平成 24 年の実態」、「学年間の比較」となっている。

#### 3. 4. 1 自己肯定感

(財) 日本青少年研究所が実施した「高校生の生活意識と留学に関する調査」(平成 24 年 4 月発表) や当機構が実施した「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成 22 年度調査) から、我が国の青少年の自己肯定感は、諸外国に比べて低く、また、学年が上がるにつれて低くなるといった傾向が明らかになっており、青少年の健全育成にとって、大きな課題の一つとなっている。

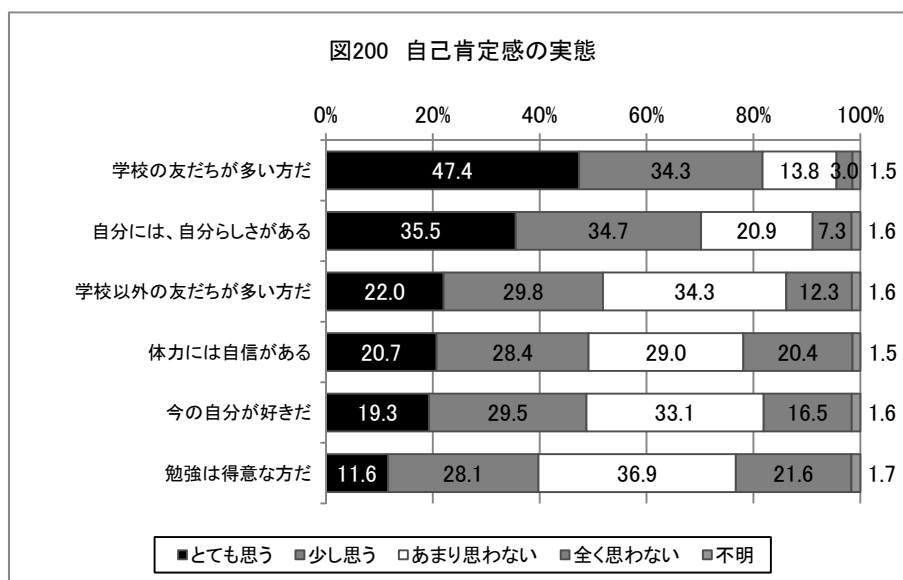
そこで、今回の調査では、自己肯定感に着目し、これまでの調査で取り上げてきた「学校の友だちが多い方だ」、「学校以外の友だちが多い方だ」、「勉強は得意な方だ」、「今の自分が好きだ」、「自分には、自分らしさがある」の 5 項目に、「体力には自信がある方だ」という項目を加え全 6 項目で調査、分析を行った。

なお、経年比較については、同様の調査項目を採用している平成 18 年、平成 20 年、平成 22 年の結果を用いている。

#### ア. 平成 24 年の実態

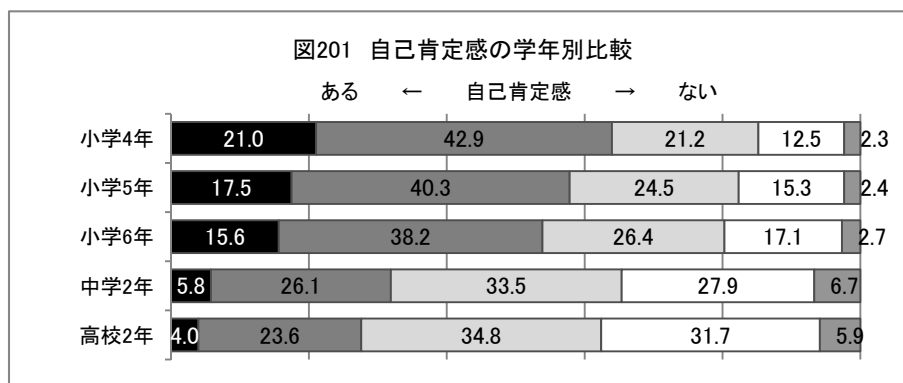
今の青少年(小 4・小 6、中 2、高 2) の自己肯定感(6 項目)について、今の自分について、どれくらい当てはまるのかを各項目について「とても思う」、「少し思う」、「あまり思わない」、「全く思わない」の 4 段階で捉え、「とても思う」、「少し思う」と答えた割合の多い順に並べた。

「とても思う」、「少し思う」と答えた割合は、「学校の友だちが多い方だ」がもっとも高く、8 割以上であり、「自分には、自分らしさがある」は、7 割程度である一方、「勉強は得意な方だ」は、4 割以下であり、最も低くなっている。



#### イ. 学年間の比較

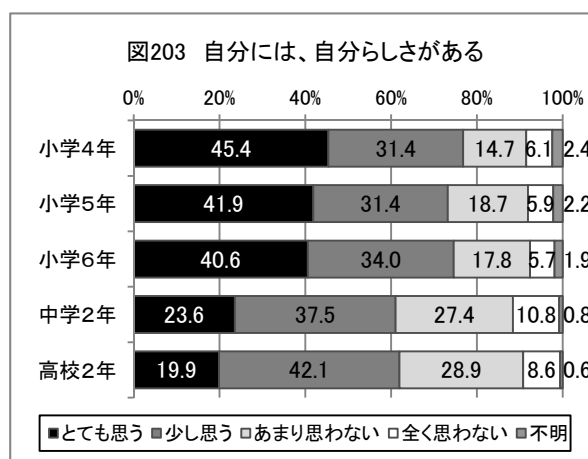
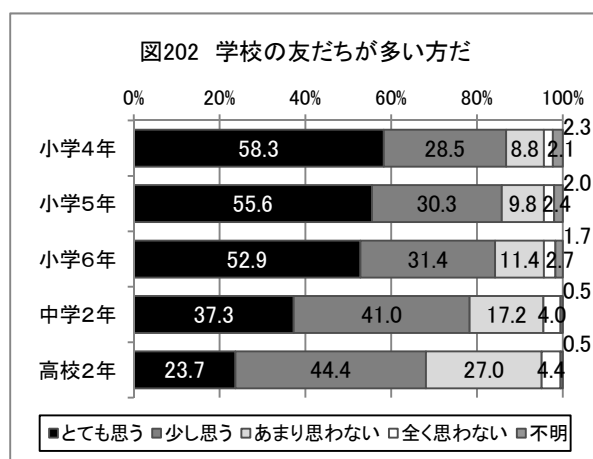
自己肯定感に関する質問項目に「とても思う」、「少し思う」と答えた割合は、「学校以外の友だちが多い方だ」以外は、学年が上がるにつれて低くなり、中高生になると急激に低くなる傾向にある。

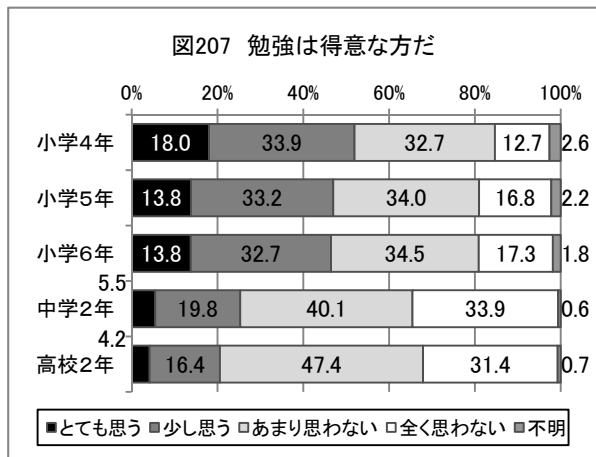
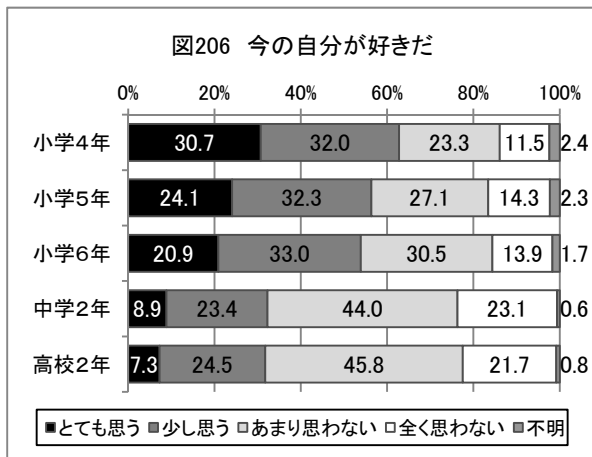
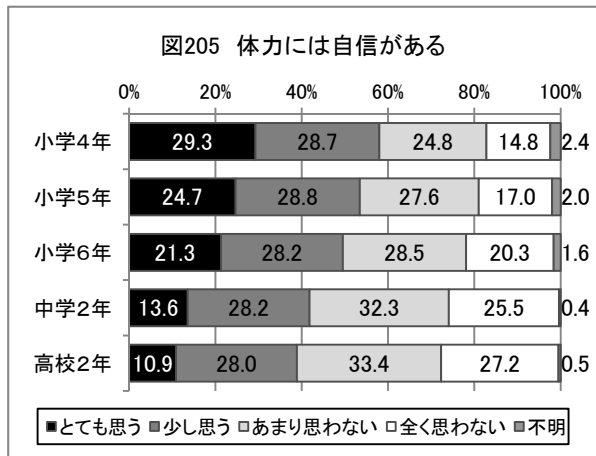
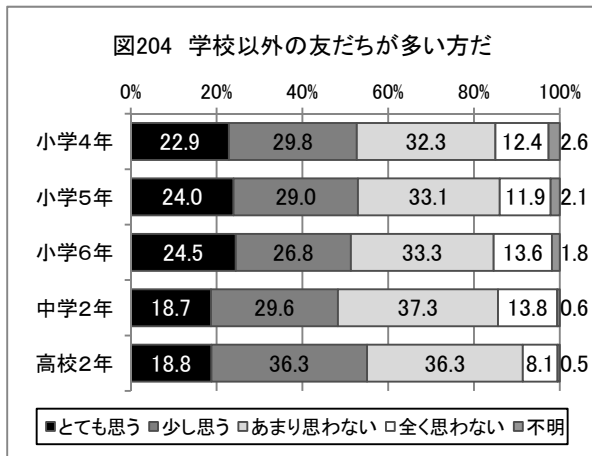


(注)

図 201 の横軸では、「ある←自己肯定感→ない」という矢印で5つの群に分けているが、それについては、被調査者の回答を得点化し、5段階に分類したものである。得点化及び分類の手順は、次の通りである。

「自己肯定感」については、以下のグラフにある6項目を得点化したもの。この項目は、「とても思う」、「少し思う」、「あまり思わない」、「全く思わない」の4段階で捉えており、「とても思う」を1点、「少し思う」を2点、「あまり思わない」を3点、「全く思わない」を4点として、6項目の平均点を算出した（無回答の項目がある場合は、回答が得られた項目で平均点を算出し、すべての項目が無回答の場合は、母数から除外）。算出された平均点に従って、「1点以上1.6点未満」、「1.6点以上2.2点未満」、「2.2点以上2.8点未満」、「2.8点以上3.4点未満」、「3.4点以上4点以下」の5段階に分類した。



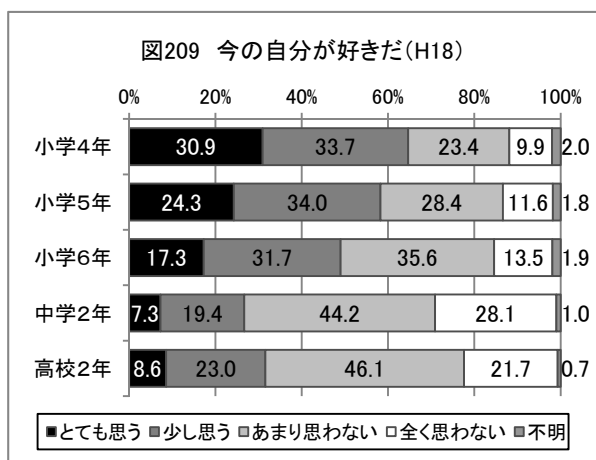
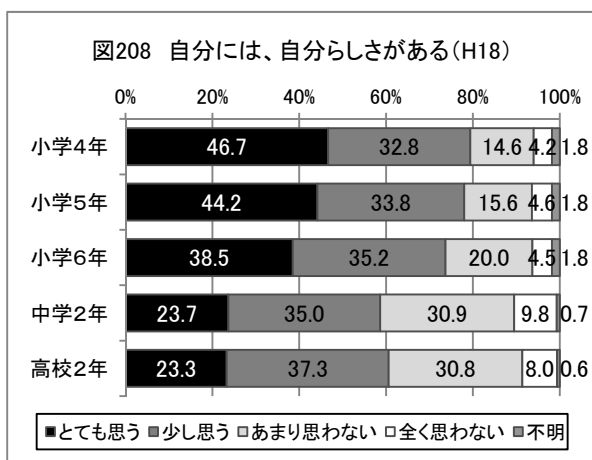


ウ. 平成 18 年から平成 24 年の 6 年間の経年比較

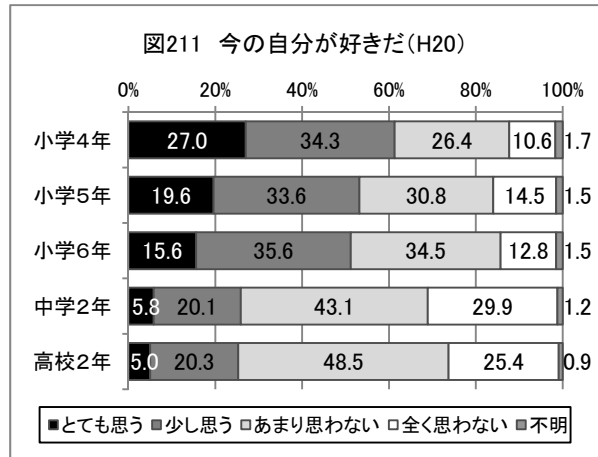
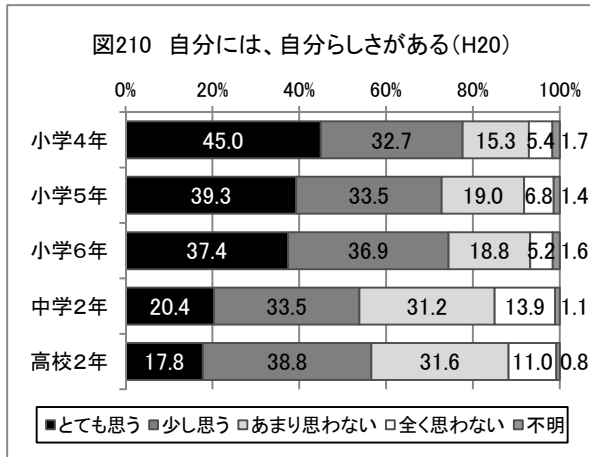
(※一部については、平成 20 年から平成 24 年の 4 年間の経年比較)

平成 18 年、平成 20 年、平成 22 年それぞれの「今の自分が好きだ」、「自分には、自分らしさがある」の結果を見ると、学年が上がるにつれて「とても思う」と答えた割合は低くなり、中高生になると急激に低くなる。その傾向は、平成 18 年から変わっていない。

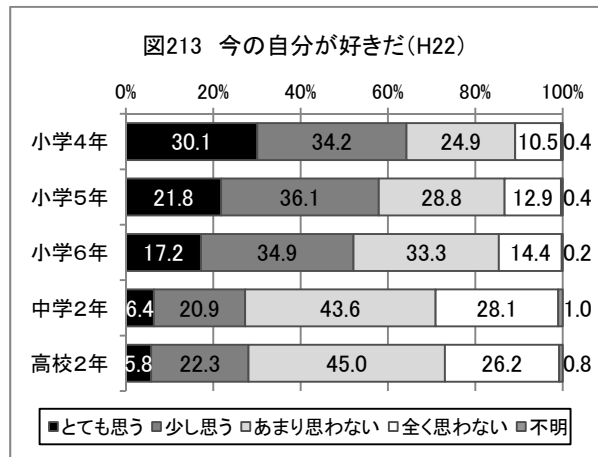
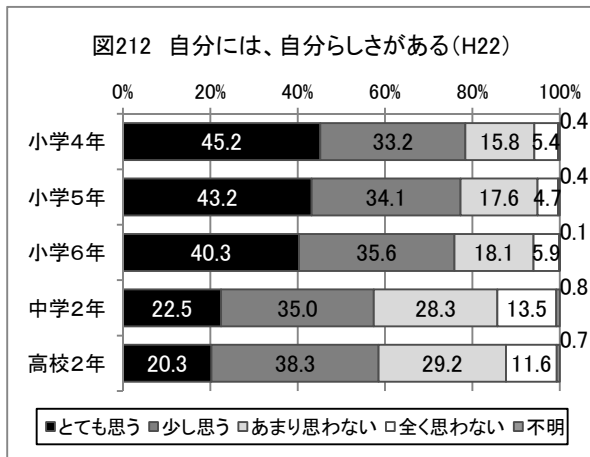
(平成 18 年)



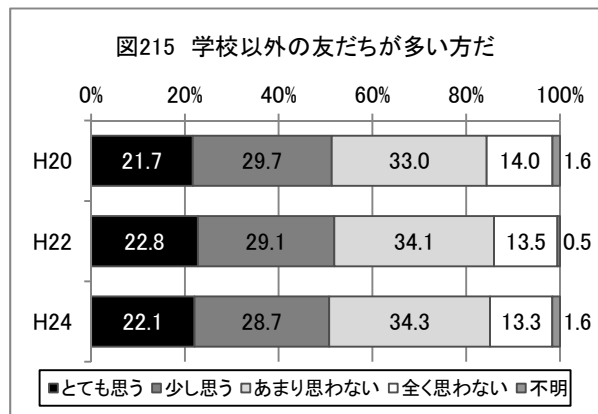
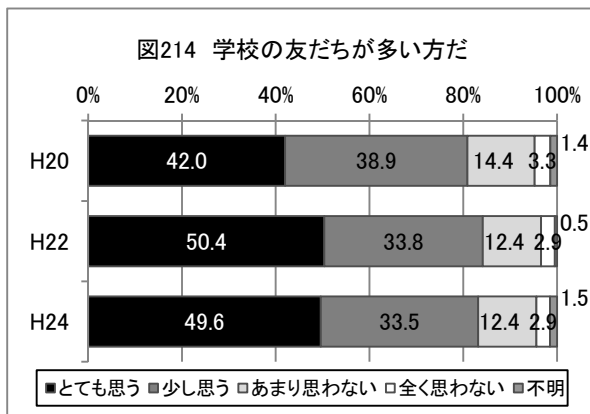
(平成 20 年)

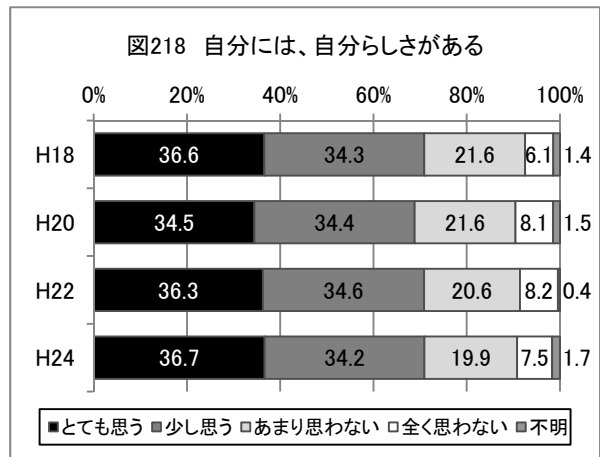
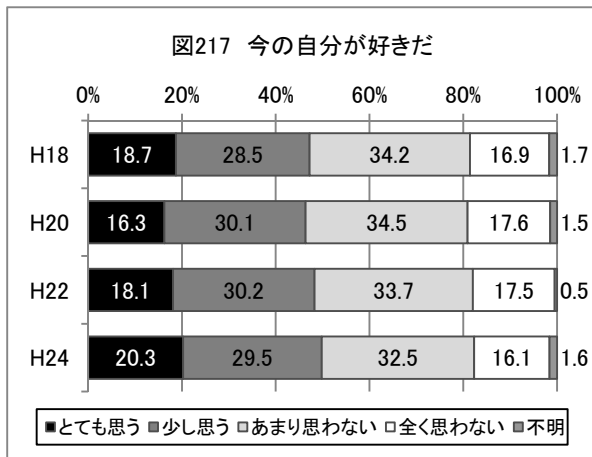
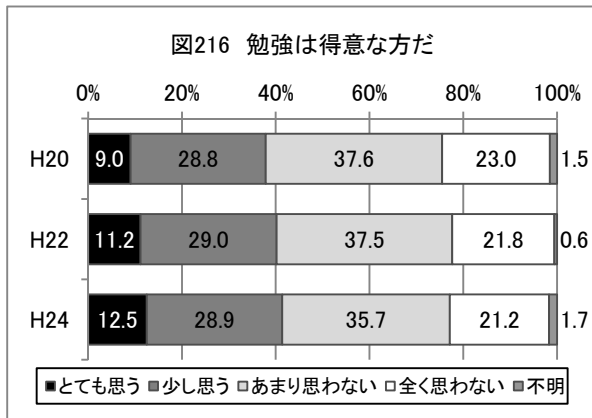


(平成 22 年)



平成 18 年から平成 24 年の 6 年間（一部の項目に関しては、平成 20 年から平成 24 年の 4 年間）の小中学生（小 4、小 6、中 2）の自己肯定感を見ると、「勉強は得意な方だ」、「今の自分が好きだ」については、「とても思う」、「少し思う」と答えた割合が、平成 20 年から平成 24 年にかけて、ゆるやかな増加傾向にある。





## エ. 自己肯定感に関する質問項目の相関関係

自己肯定感に関する6つの項目の相関関係を見ると、「今の自分が好きだ」と「自分には、自分らしさがある」の関係は、どの学年においても、最も強い相関関係が見られる。

また、「体力には自信がある」は、どの学年を見ても、他の5項目全てと相関関係が見られる。

「勉強は得意な方だ」は、小学生では、「学校の友達が多い方だ」、「今の自分が好きだ」、「自分には、自分らしさがある」、「体力には自信がある」の4項目と相関関係があり、中学生と高校生では、「今の自分が好きだ」、「自分には、自分らしさがある」、「体力には自信がある」の3項目と相関関係がある。

表1 自己肯定感に関する質問項目の相関(小学生)

	学校の友だちが多い方だ	学校以外の友だちが多い方だ	勉強は得意な方だ	今の自分が好きだ	自分には、自分らしさがある	体力には自信がある
学校の友だちが多い方だ		.284	.217	.288	.275	.319
学校以外の友だちが多い方だ	.284		.155	.162	.190	.271
勉強は得意な方だ	.217	.155		.359	.324	.232
今の自分が好きだ	.288	.162	.359		.574	.285
自分には、自分らしさがある	.275	.190	.324	.574		.290
体力には自信がある	.319	.271	.232	.285	.290	

表2 自己肯定感に関する質問項目の相関(中学生)

	学校の友だちが多い方だ	学校以外の友だちが多い方だ	勉強は得意な方だ	今の自分が好きだ	自分には、自分らしさがある	体力には自信がある
学校の友だちが多い方だ		.343	.139	.289	.296	.345
学校以外の友だちが多い方だ	.343		.090	.187	.198	.283
勉強は得意な方だ	.139	.090		.360	.291	.259
今の自分が好きだ	.289	.187	.360		.586	.347
自分には、自分らしさがある	.296	.198	.291	.586		.342
体力には自信がある	.345	.283	.259	.347	.342	

表3 自己肯定感に関する質問項目の相関(高校生)

	学校の友だちが多い方だ	学校以外の友だちが多い方だ	勉強は得意な方だ	今の自分が好きだ	自分には、自分らしさがある	体力には自信がある
学校の友だちが多い方だ		.490	.163	.303	.297	.316
学校以外の友だちが多い方だ	.490		.102	.192	.225	.261
勉強は得意な方だ	.163	.102		.374	.239	.220
今の自分が好きだ	.303	.192	.374		.553	.287
自分には、自分らしさがある	.297	.225	.239	.553		.299
体力には自信がある	.316	.261	.220	.287	.299	

(注)

相関関係とは、2つの変数の関連度合いを示す統計学的指標。相関係数による相関関係の強さの目安は、一般的に右のように表される。

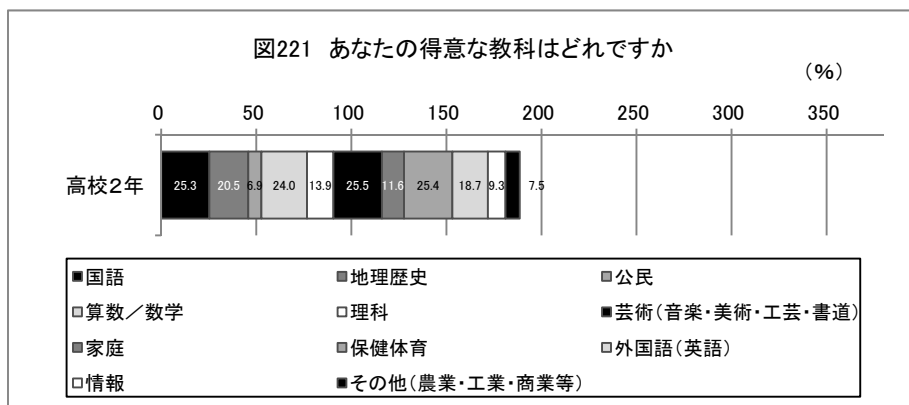
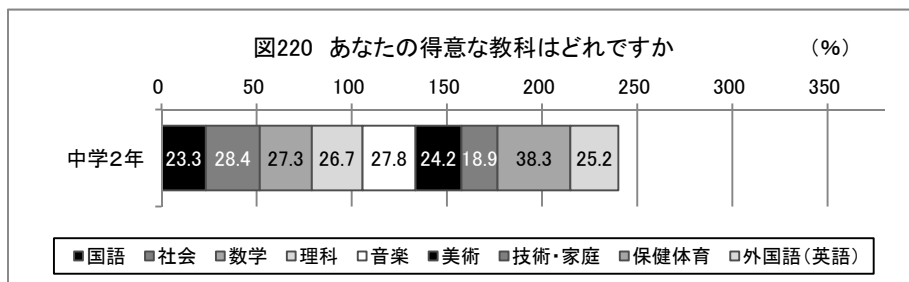
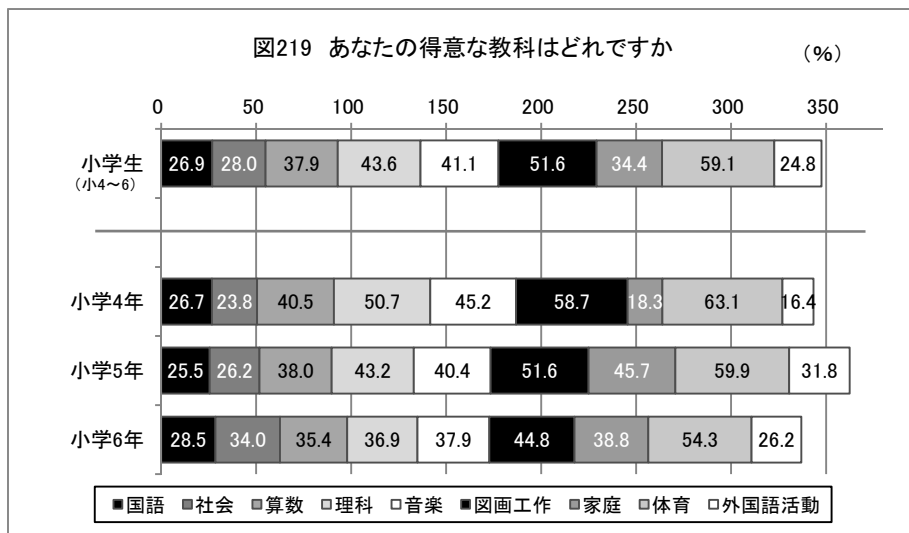
【参考】相関係数の強さの目安

相関係数	相関関係
0.0～±0.2	ほとんど相関がない
±0.2～±0.4	やや相関がある
±0.4～±0.7	相関がある
±0.7～±0.9	強い相関がある
±0.9～±1.0	極めて強い相関がある

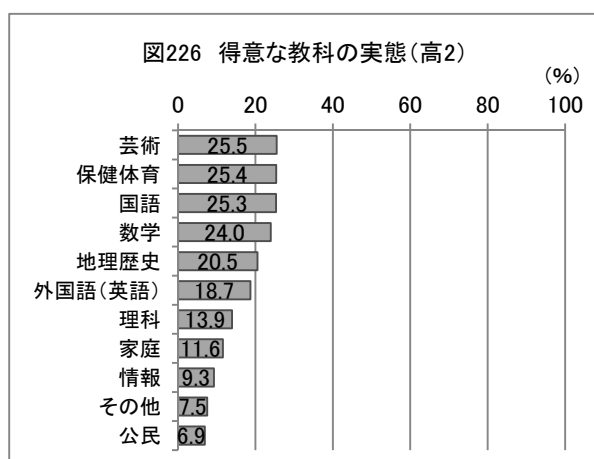
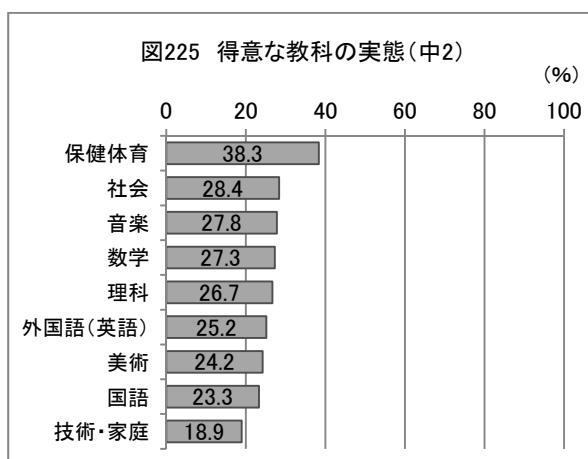
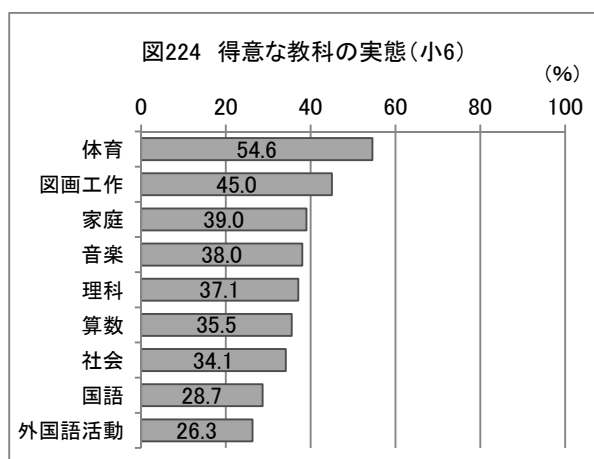
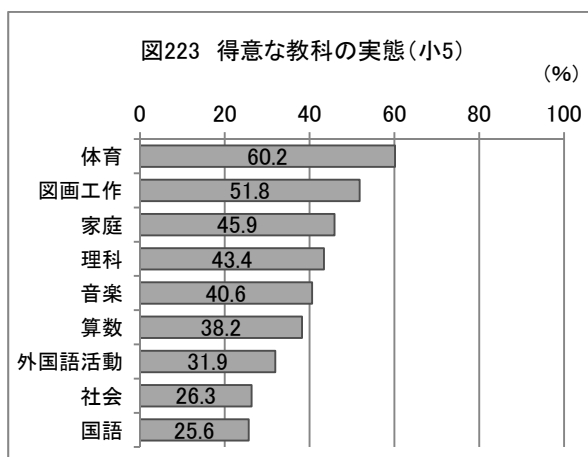
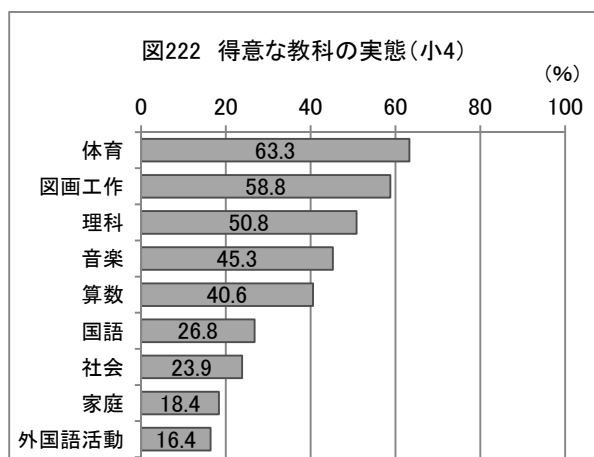
### 3. 4. 2 得意な教科

#### ア. 平成 24 年の実態

今回、初めて得意な教科について調査をした。「あなたの得意な教科はどれですか」という問いに、得意な教科として挙げた教科の平均数は、小学生では約 3.5 教科、中学 2 年では約 2.4 教科、高校 2 年では、約 1.8 教科である。



学年別に見ると、高校2年以外は、得意な教科として「体育／保健体育」を挙げる割合が高い傾向にある。



#### イ. 「勉強は得意な方だ」と得意な教科の関係

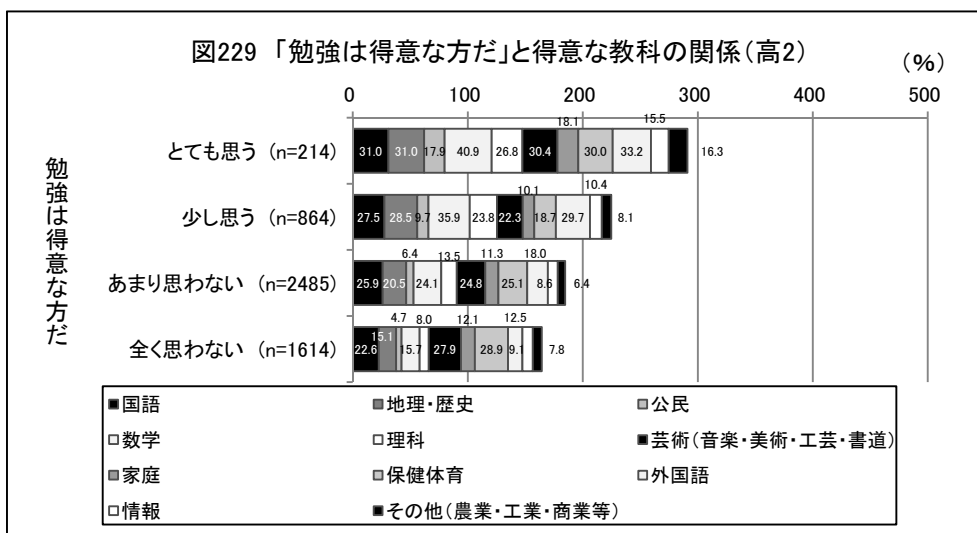
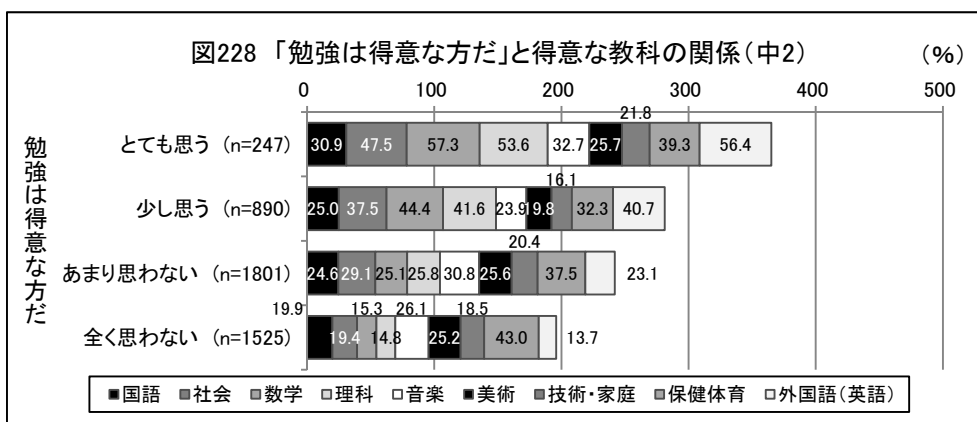
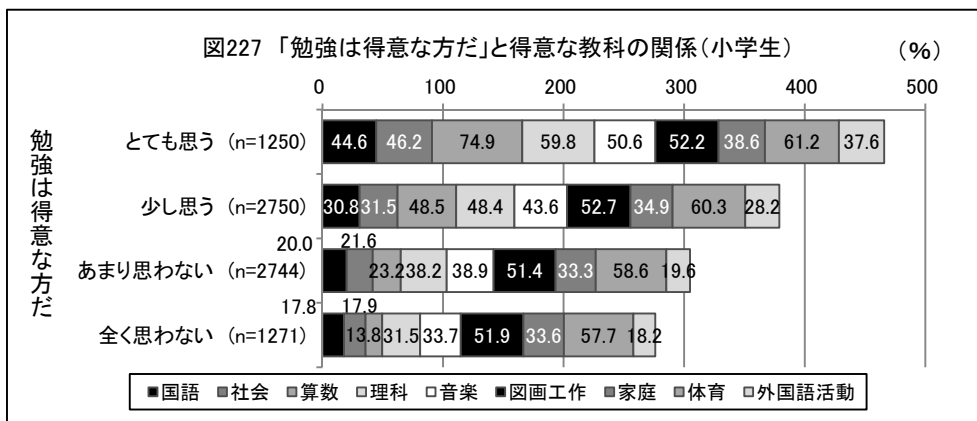
自己肯定感の1つの項目である「勉強が得意な方だ」と得意な教科の関係を見ると、「勉強が得意な方だ」に「とても思う」と答えた青少年の方が、「国語」、「社会」、「算数」、「理科」、「外国語活動／外国語(英語)」を得意な教科として答える割合が高い傾向にある。

それに対し、「音楽」、「図画工作」、「家庭」、「体育」を得意な教科としてあげる割合は、勉強の得意不得意に関わらず、ほぼ一定である。

「勉強が得意な方だ」について、「とても思う」と答えている小学生は、得意な教科が、約4.5教科あり、中学2年では約3.6教科、高校2年では2.9教科である。



しかしながら、「全く思わない」と答えている場合でも、得意な教科が、小学生では約 2.7 教科、中学 2 年では約 2 教科、高校 2 年では約 1.6 教科ある。

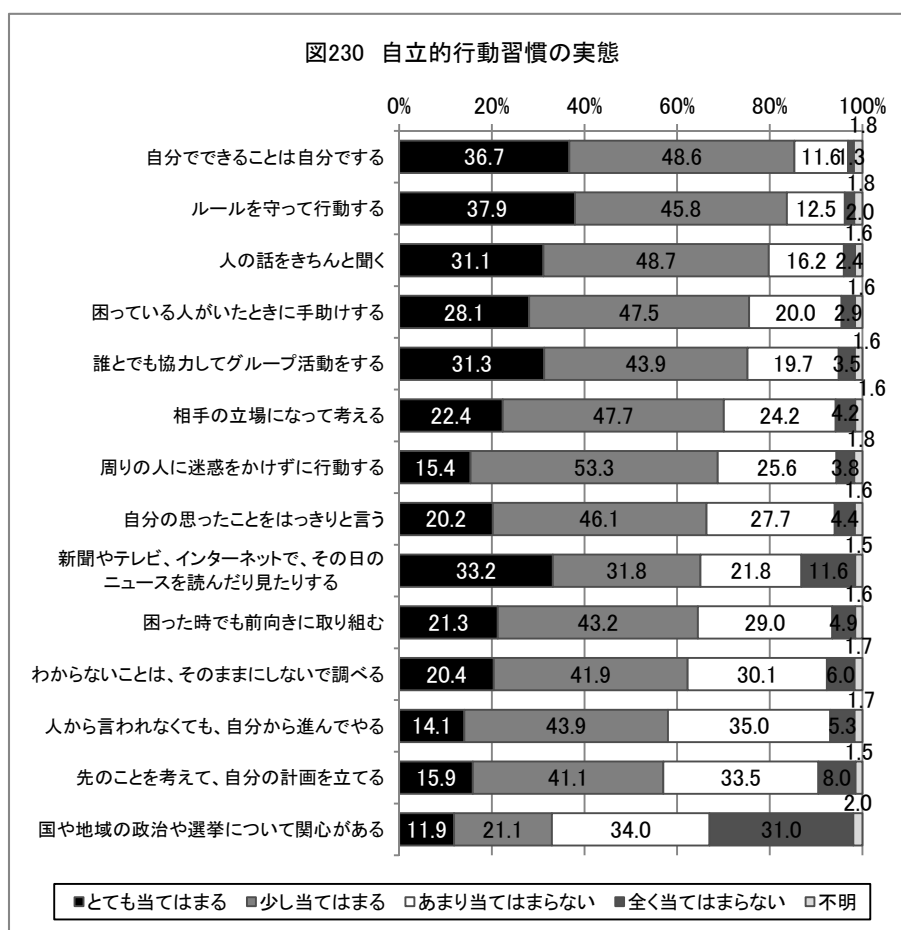


### 3. 4. 3 自立的行動習慣

#### ア. 平成 24 年の実態

今の青少年（小学生、中 2、高 2）の自立的行動習慣（14 項目）について、今の自分について、自分にどれくらい当てはまるのかを各項目について「とても当てはまる」、「少し当てはまる」、「あまり当てはまらない」、「全く当てはまらない」の 4 段階で捉え、「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた割合の多い順に並べた。

「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた割合は、「自分でできることは自分です」、「ルールを守って行動する」は、8 割以上である一方、「人から言われなくても、自分から進んでやる」、「先のことを考えて、自分の計画を立てる」については、6 割以下であり、「国や地域の政治や選挙について関心がある」については、3 割程度である。



#### イ. 学年間の比較

「自分でできることは自分です」、「自分の思ったことをはっきりと言う」については、「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた割合が、学年が上がるにつれてゆるやかに増加する傾向にあるが、「誰とでも協力してグループ活動をする」については、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。

また、「ルールを守って行動する」、「人の話をきちんと聞く」、「困っている人がいたときに手助けする」、「相手の立場になって考える」、「周りの人に迷惑をかけずに行動する」、「人から言われなくても、自分から進んでやる」、「わからないことは、そのままにしないで調べる」、「先のことを考えて、自分の計画を立てる」、「国や地域の政治や選挙について関心がある」については、「とても当てはまる」、「少しあてはまる」と答えた割合が中学 2 年生で減少し、高校 2 年で増加する。

図231 自分でできることは自分でする

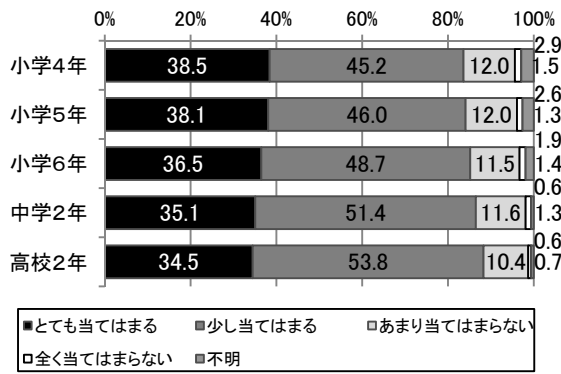


図232 ルールを守って行動する

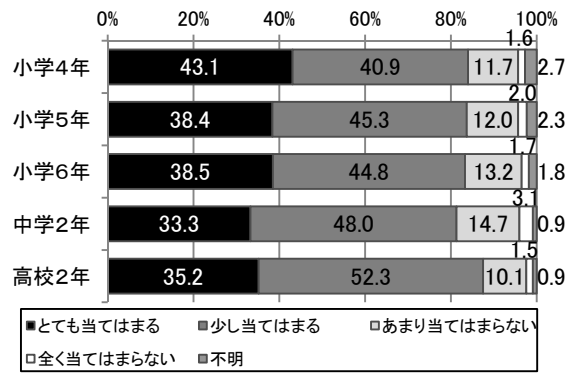


図233 人の話をきちんと聞く

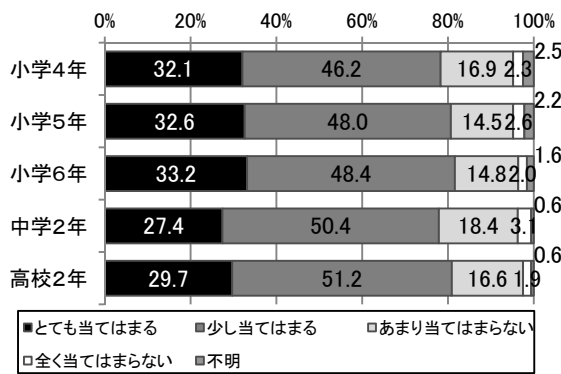


図234 困っている人がいたときに手助けする

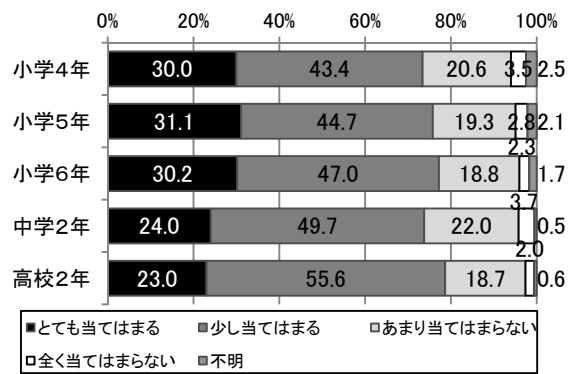


図235 誰とでも協力してグループ活動をする

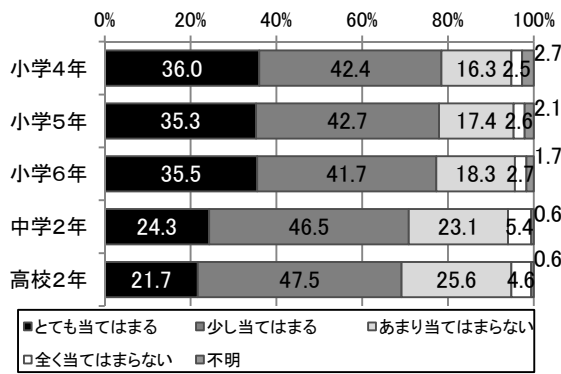


図236 相手の立場になって考える

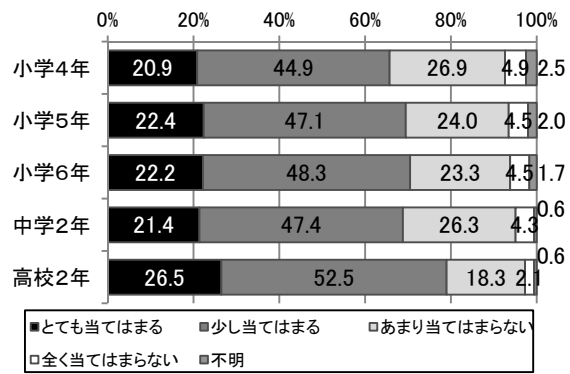


図237 周りの人に迷惑をかけずに行動する

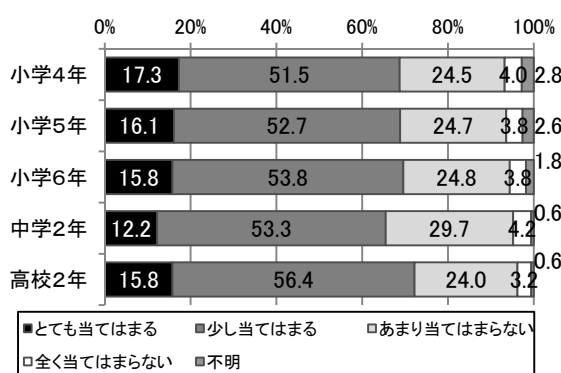
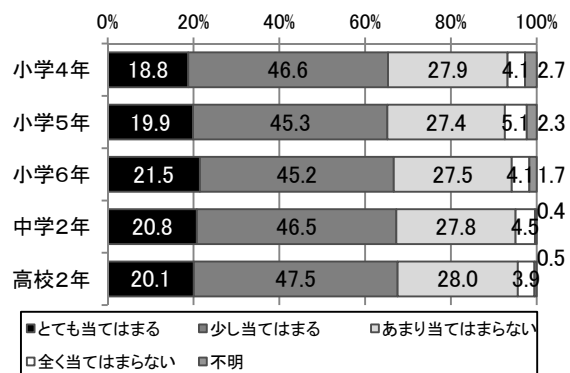
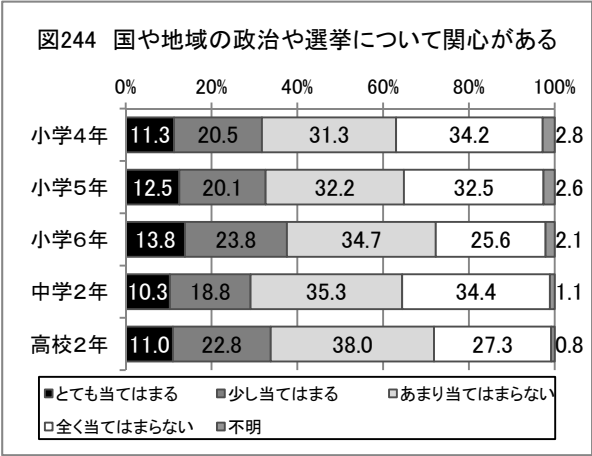
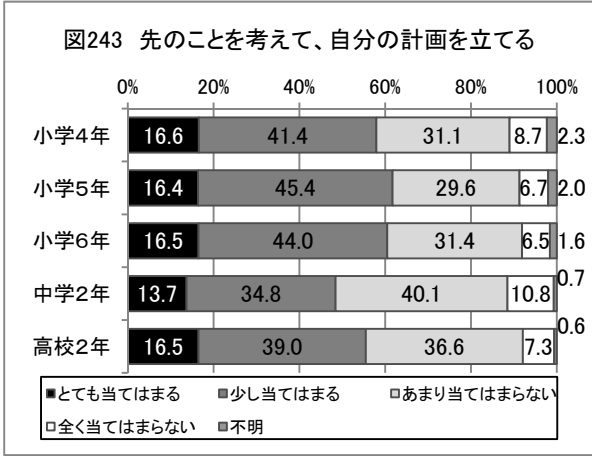
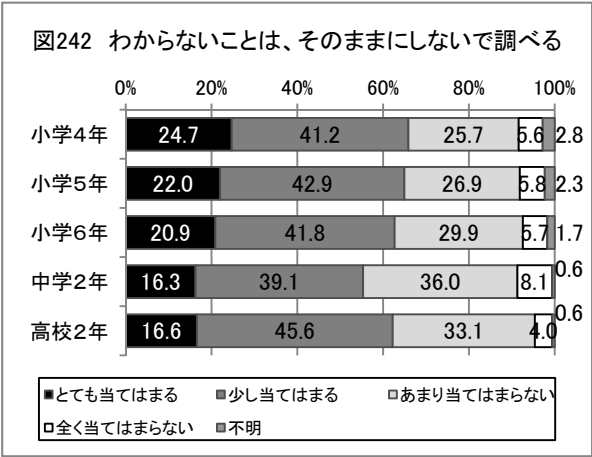
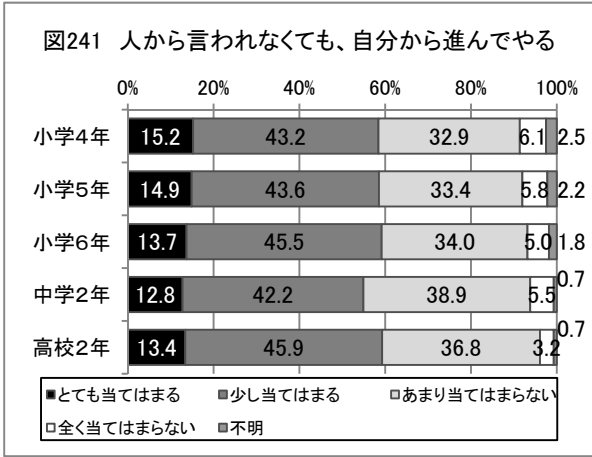
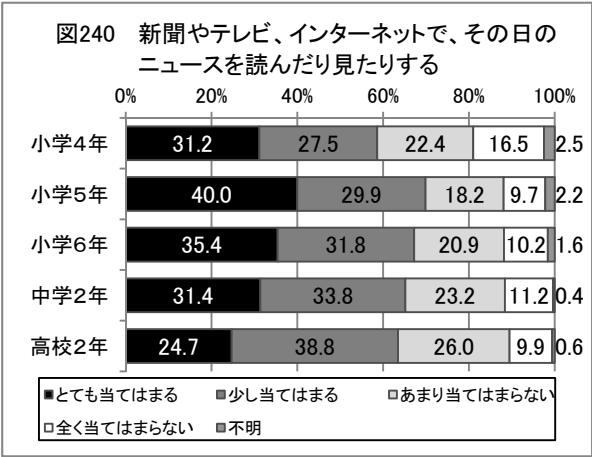
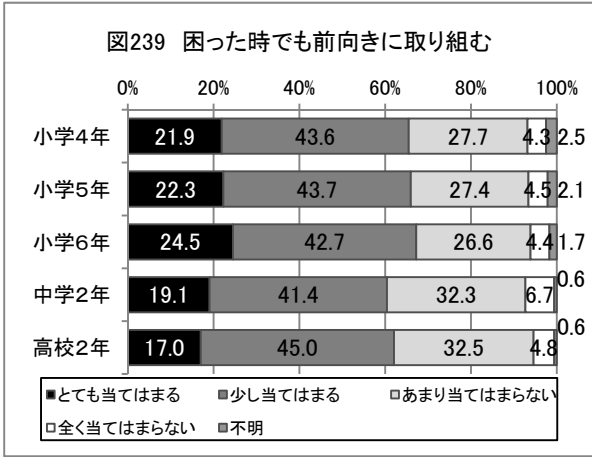


図238 自分の思ったことをはっきりと言う





ウ. 平成 18 年から平成 24 年の 6 年間の経年比較

平成 18 年から平成 24 年の 6 年間の小中学生（小 4、小 6、中 2）の自立的行動習慣（14 項目）に関する質問項目を見ると、自分にどれくらい当てはまると感じますかという問いに、「とても当てはまる」、「少し当てはまる」と答えた割合は、大きな変化は見られないが、「とても当てはまる」と答えた割合だけを見ると、ゆるやかな増加傾向がみられる項目が多い。

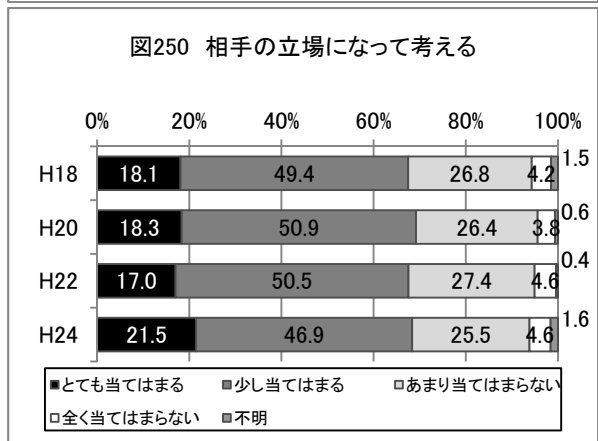
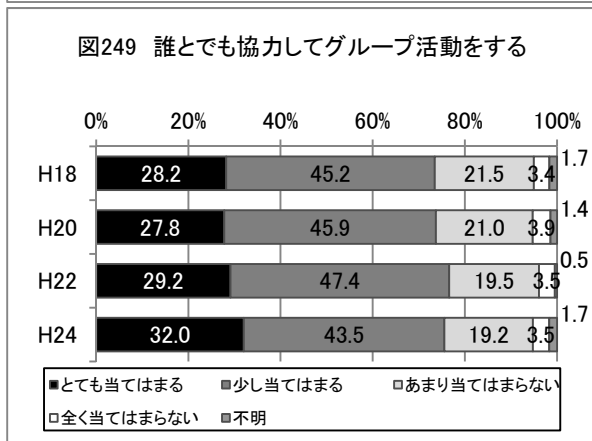
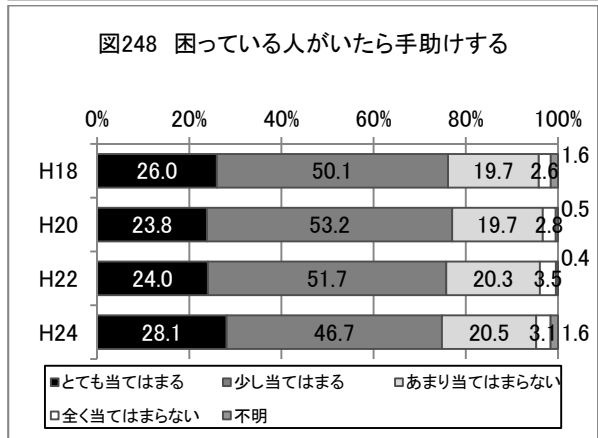
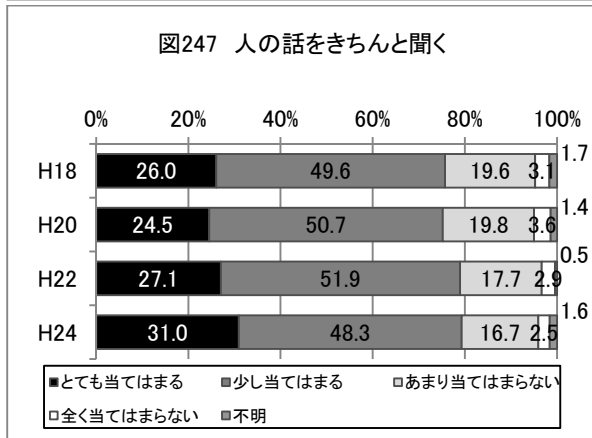
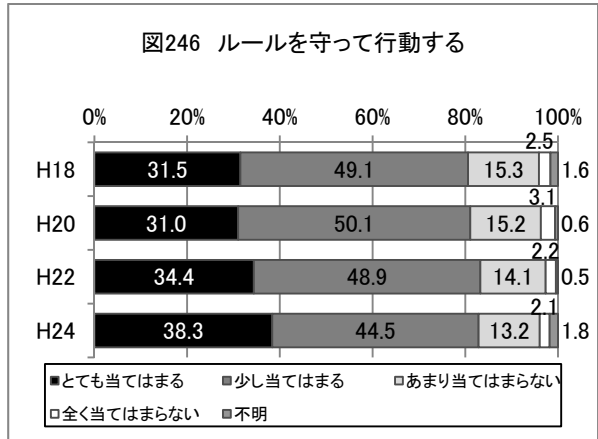
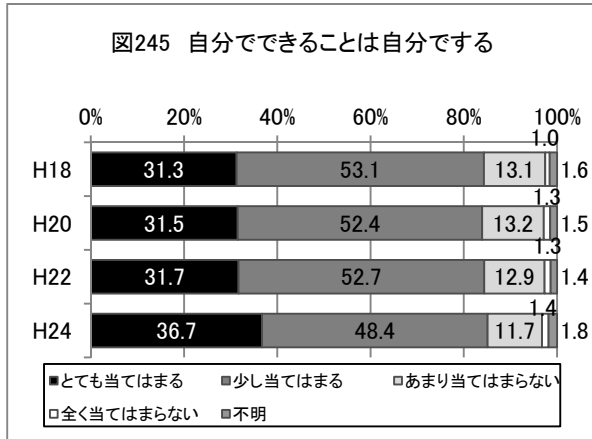


図251 周りの人に迷惑をかけずに行動する

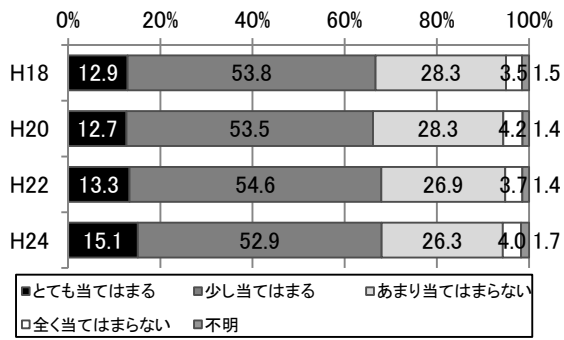


図252 自分の思ったことをはっきりと言う

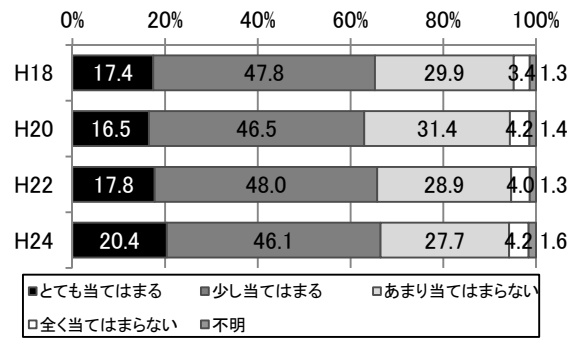


図253 新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだり見たりする

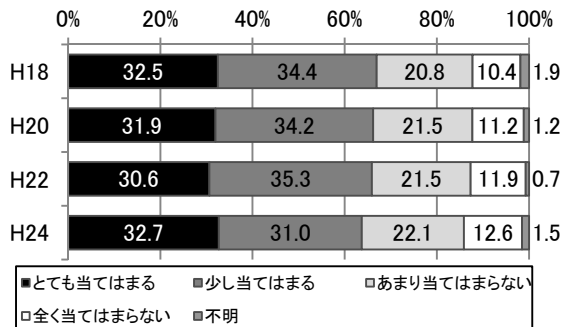


図254 困った時でも前向きに取り組む

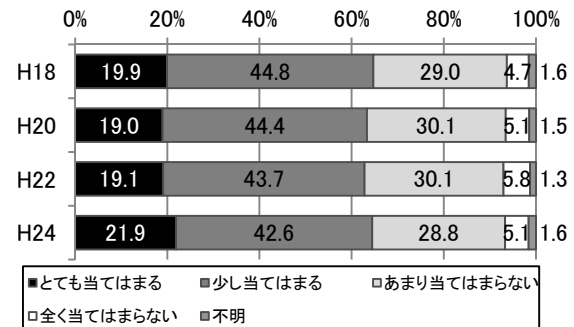


図255 わからないことは、そのままにしないで調べる

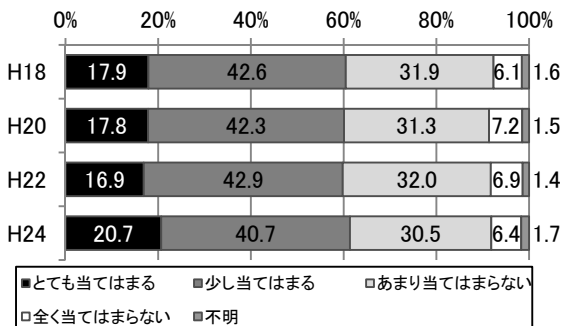


図256 人から言われなくても、自分から進んでやる

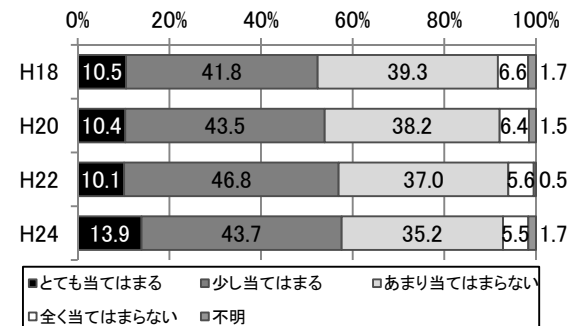


図257 先のことを考えて、自分の計画を立てる

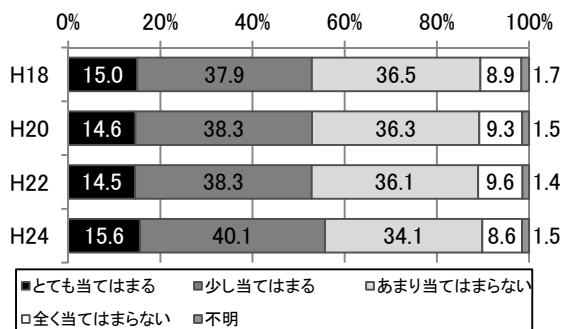
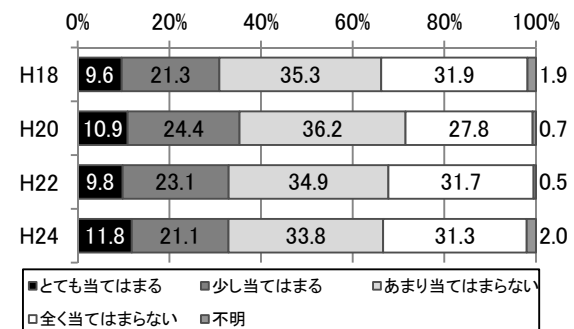


図258 国や地域の政治や選挙について関心がある

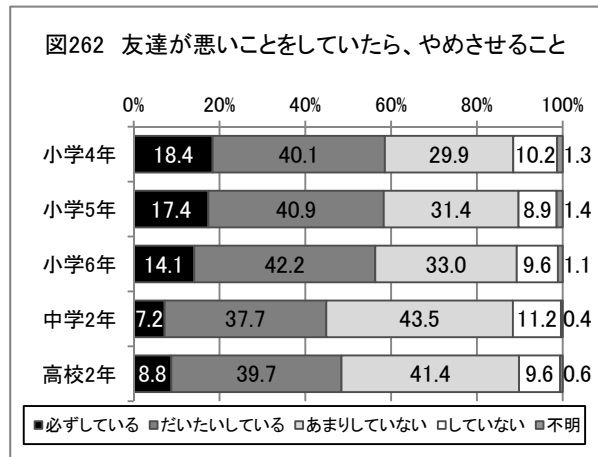
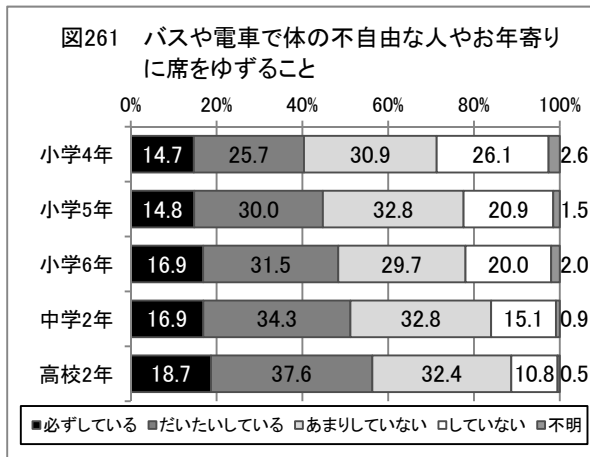
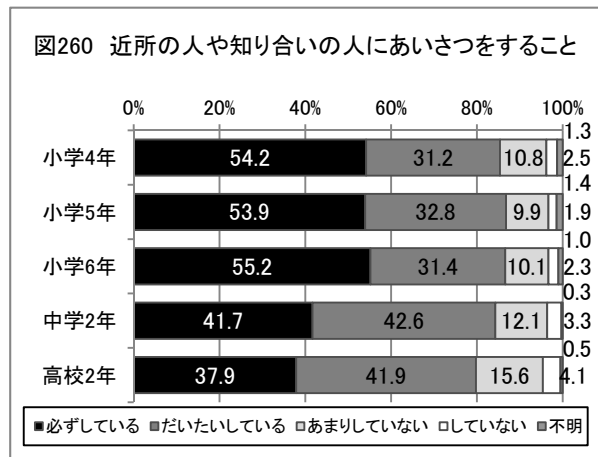
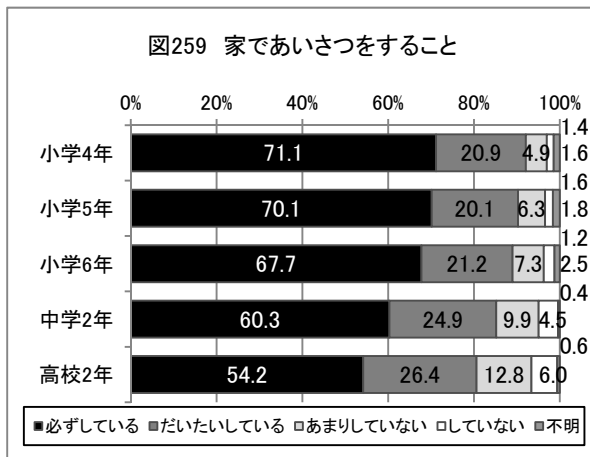


### 3. 4. 4 道徳観・正義感

#### ア. 学年間の比較

今の青少年（小学生、中2、高2）の道徳観・正義感（4項目）について、今の自分について、どれくらい当てはまるのかを各項目について「必ずしている」、「だいたいしている」、「あまりしていない」、「していない」の4段階で捉えた。

「家であいさつをすること」、「近所の人や知り合いの人にあいさつをすること」、「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」については、「必ずしている」、「だいたいしている」と答えた割合は、学年が上がるにつれて、減少する傾向にある。「バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること」については、学年が上がるにつれて、「必ずしている」、「だいたいしている」と答えた割合が増加する傾向にある。



#### イ. 平成10年から平成24年の14年間の経年比較

平成10年から平成24年の14年間の小中学生（小4、小6、中2）の道徳観・正義感に関する質問項目を見ると、次のことをどれくらいしていますかという問いに、「必ずしている」、「だいたいしている」と答えた割合は、「家であいさつをすること」、「近所の人や知り合いの人にあいさつをすること」、「バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること」では、平成10年から平成17年はあまり変わらないが、平成17年から平成24年にかけて増加傾向にある。一方、「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」は、平成10年から平成24年にかけて、年による増減はあるが、平成10年と平成24年は、ほとんど変わらない。

図263 家であいさつをすること

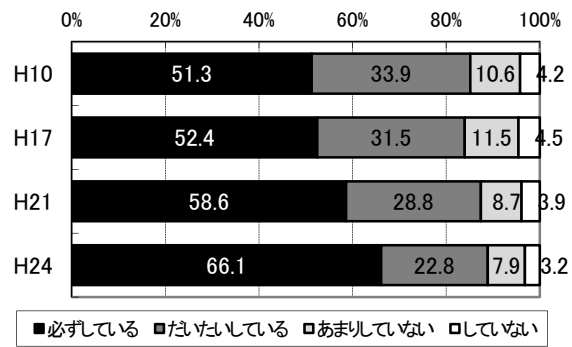


図264 近所の人や知り合いの人にあいさつをすること

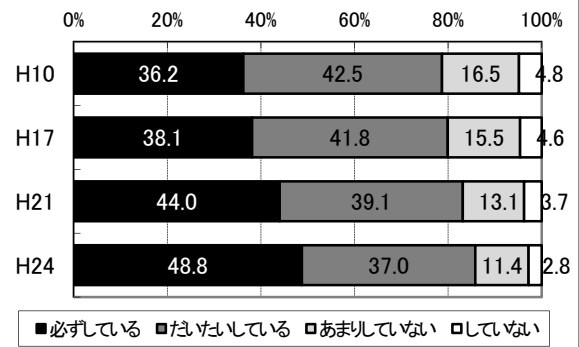


図265 バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること

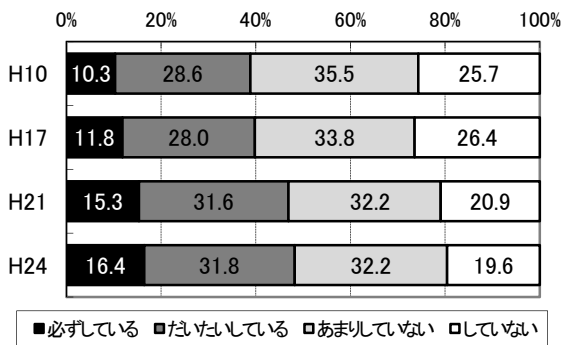


図266 友達が悪いことをしていたら、やめさせること

